

バイオセーフティの理解促進のための 国際科学者会議

社会の持続可能性とバイオセーフティに関する
科学的知見

環境と社会的責任のための欧州科学者ネットワーク (ENSSER)

第三世界ネットワーク (TWN)

ドイツ科学者協会 (VDW)

2010年10月07～09日

名古屋

使用言語：英語

入場無料

科学者会議 - 社会の持続可能性とバイオセーフティーに関する科学的知見

2010年10月07日 (木)

開会の言葉	
14:00	<p>林 良嗣 名古屋大学大学院環境学研究科 COP10支援実行委員会アドバイザー</p> <p>ヨーク-リン・チー 第三世界ネットワーク代表</p> <p>アンジェリカ・ヒルベック博士 環境と社会的責任のための欧州科学者ネットワーク議長</p>
基調講演	
14:45	<p>バイオセーフティーに関するカルタヘナ議定書第5回締約国会議 (MOP5)の見通し</p> <p>クリスティアーネ・フォン・ワイツゼッカー ドイツ科学者協会 (ドイツ)</p>
15:15	<p>メキシコに於けるトウモロコシ栽培原種、遺伝子組み換えトウモロコシ、食糧安全保障、そして文化紛争</p> <p>アントニオ・トゥレント・フェルナンデス教授 国立農林畜産研究所 (INIFAP)、社会に關与する科学者同盟 (UCCS) (メキシコ)</p>
16:00	(休憩)
16:30	<p>インドのBtナス: 最高裁判所から市民論争へ——市民社会はどのようにしてモンサントと規制当局に勝ったか?</p> <p>アルーナ・ロドリゲス 最高裁公益訴訟原告団長 (インド)</p>
17:15	<p>システムのリスクの評価——全体論的概念</p> <p>ブローダー・ブレックリング博士 ベクタ大学 (ドイツ)</p>
18:00	本日のまとめ

2010年10月08日 (金)

リスク評価——現在のアプローチの検証	
09:00	<p>健全なる科学——欧州食品安全庁への申請書類の評価</p> <p>アンドレアス・ハイセンバーガー博士 オーストリア環境庁 (オーストリア)</p>
09:30	<p>Bt作物——リスク評価に必要な科学をめぐる論争</p> <p>アンジェリカ・ヒルベック博士 スイス連邦技術研究所、チューリヒ総合生物学研究所 (スイス)、ジェネク・バイオセーフティー・センター (ノルウェー)</p>
10:00	<p>GMトウモロコシとグリフォサート系除草剤——健康調査</p> <p>ジル-エリック・セラリーニ カーン大学 (フランス)</p>
10:30	(休憩)
11:00	<p>遺伝子組み換え魚——閉鎖系利用による応用をどう評価するか</p> <p>アントニエッタ・ギティエレス教授 リマ大学 (ペルー)</p>
11:30	討論
12:30	(昼食)

科学者会議 - 社会の持続可能性とバイオセーフティーに関する科学的知見

2010年10月08日 (金)

生態系リスクの研究——生命体から景観まで		
14:00	遺伝子組み換えウィルス——環境への難題	テリエ・トラアヴィック教授 ジェネク・バイオセーフティー・センター (ノルウェー)
14:30	日本の港湾周辺地域に於ける遺伝子組み換えナタネの野生生育とその環境に対する意味	河田昌東講師 四日市大学 (日本)
15:00	小規模システムにおける導入遺伝子移動——ガーナをモデルとして	ウォルラニョ・アヘート博士 ケープコースト大学 (ガーナ)
15:30	(休憩)	
16:00	南アフリカのトウモロコシ商業栽培に於けるGM遺伝子移動	クリス・ヴィルジョエン教授 自由州大学 (南アフリカ)
16:30	討論	
17:30	本日のまとめ	

2010年10月09日 (土)

実態の検証		
09:00	遺伝子および植物の特許化：知的所有権は農業の研究とイノベーションを変容させる	リム・リ・チン 第三世界ネットワーク (マレーシア)
09:30	GM作物の収量——世界を養えるのか？	デイヴィッド・クイスト博士 ジェネク・バイオセーフティー・センター (ノルウェー) ダウグ・ガリアン-シャーマン博士 (憂慮する科学者同盟, アメリカ) との共同研究
10:00	Bt-耐性目標害虫——南アフリカにおける急速な発生	ジョニー・ヴァン・デン・ベルグ教授 ノースウェスト大学 (南アフリカ)
10:30	(休憩)	
11:00	南アメリカに於ける遺伝子組み換え大豆の環境上および農学上の問題	ヴァルテール・A・ペング教授 ブエノスアイレス大学 (アルゼンチン)
11:30	誇大宣伝ではなく希望を：農業の未来	ジャック・A・ハイネマン カンタベリー大学 (ニュージーランド)
12:00	討論	
13:00	本日のまとめと閉会の言葉	

